

新しい豊かさの創造
「健康しが」

滋賀+1

プラスワン



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



特別企画

新春×対談

星野リゾート代表

ほし の よし はる
星野 佳路さん

県広報誌

Vol.177

平成31年(2019年)

1・2

月号



特別企画

新春対談

観光を地域の力にして、
新たな100年に向かう

特集

滋賀から世界へ

琵琶湖の経験が海外で貢献!

滋賀にIJU?!

移住促進プロジェクト

開設1周年! ここ滋賀



しが∞モノ語り

湖国に伝わる文化を読む。

鮒ずしと発酵文化(高島市)

遠藤周作のエッセイ集『万華鏡』には遠藤の雅号「狐狸庵」にちなんで、「湖里庵」と名づけられた高島市マキノの料亭が登場します。

おいしい鮒ずしを求め来訪した遠藤は、滋味あふれる鮒ずしと、マキノから見た琵琶湖の風景に深い愛着を持ち、東京から何度も足を運びました。

高島でも、古くから鮒ずしをはじめとする発酵食が盛んに作られてきました。夏の暑さと冬の厳しい寒さが、独特の深い味わいを育みます。素材はニゴロブナと米と塩。乳酸菌の力で発酵させます。冷蔵の技術がない時代に、食材を大



台風21号により被災した湖里庵は現在再建中

切にする先人の知恵が生んだ郷土食です。

「菌の時間」で考える

鮒ずしの味を決めるのは、蔵に棲む乳酸菌です。乳酸菌を守るため、雑菌を持ち込まぬよう蔵に入るのは当主の私一人です。高島の気候は発酵食に適し、夏の暑さで発酵が進み、冬には雪が降ることで菌が落ち着き、低温熟成できるのです。人の都合ではなく「菌の時間」を大切にすることを心がけています。

鮒ずしは家庭でも作れるもの。気温が大きく変動しても、毎年同じ味に仕上げるのが職人の仕事だと考えています。



受け継いだ伝統を次世代に伝えていきたい

魚治 七代 治右衛門 左寄 謙祐さん
TEL : 0740-28-1011
住所 : 高島市マキノ町海津2304(本店)
HP : <http://uoji.co.jp/>
※湖里庵は現在休業中



「湖里庵」から望む海津大崎は、遠藤周作が愛した風景。海津西浜の湖岸には石積みが残り、国の重要文化的景観に選ばれている。

滋賀の発酵食の奥深さに魅了されて

美食倶楽部

料理家たやまささんは高島生まれで幼少から発酵食に馴染みがあるとのこと。発酵食は消化・吸収しやすく、免疫力向上や腸内環境を良くする効果があり、「もっと発酵を家庭に取り入れてほしい」との想いから、甘酒や塩麴を使った発酵料理の販売や料理教室、「ここ滋賀」などで滋賀ならではの「発酵のある暮らし」を提案。「鮒ずしやへしこだけでなく、醤油や酢・味噌も発酵食品。水が良い滋賀には、体に良い食材がたくさんあるんですよ!」



美食倶楽部
住所 : 高島市安曇川町田中47-16
TEL : 090-9054-0446

高島トピックス

針江生水の郷

湧き水の豊富な地域である針江。集落を巡る水路や、湧き水を各々の家庭で使用するための「川端(かばた)」が見られる。



乙女ヶ池

かつては「水城」であった大溝城の景観を伝える、琵琶湖の内湖。大溝の水辺景観として日本遺産に登録されている。

もくじ Contents

- ▶ しが∞モノ語り - 湖国に伝わる文化を読む。 - 「鮒ずしと発酵文化」..... 2
- ▶ 新春対談「観光を地域の力にして、新たな100年に向かう」
星野 佳路さん(星野リゾート代表) 3-5
- ▶ 特集① 滋賀から世界へ 琵琶湖の経験が海外で貢献! 6-7
- ▶ 特集② 滋賀にIJU?! 移住促進プロジェクト 8-9
- ▶ 特集③ 開設1周年! ここ滋賀 10
- ▶ 情報ガイド 11-14
- ▶ コラム「みんなでプラスワン!」 / ほっとサロン 15

【滋賀県の人口と世帯数】(推計値)

平成30年11月1日現在(前月からの増減)

- 人口総数/1,413,109人(228)
 <外国人人口/24,774人(305)>
 - 男性/697,827人(36)
 - 女性/715,282人(192)
- 世帯数/568,464世帯(373)

新春×対談

観光を地域の力にして、 新たな100年に向かう



星野リゾート代表
星野 佳路さん

滋賀県知事
三日月 大造

創業から約100年。次の100年を見据えて事業に取り組む星野リゾートの代表 星野佳路さんをお迎えし、観光を軸に、これからの滋賀県についてお話しいただきました。

—— いかに京都から離れるか、いかに宿泊客を増やすか

知事 以前に「京都の知名度と集客力に頼らず、あえてないものを追求すべき」とお話しいただいたことを覚えています。

星野 滋賀は京都の一部になってしまつと中心部にはなかなか敵いません。いったん京都から離れ、自立した観光地としてのアイデンティティを持たせ、そのためだけに来てくださる方が増えます。ロテルド比叡も滋賀の魅力に特化し、おかげさまで好調です。

知事 私には妻と2日かけて回りまわすのでしょつか。

した。

星野 2日かけるのはいいですね。宿泊と日帰りでは消費額も大きく異なってきます。今後は、宿泊の需要を作る観光の戦略が滋賀県には必要です。

星野リゾート

長野県北佐久郡軽井沢町に本社を置くリゾート運営会社。異なるコンセプトを持つ4つのブランドと、個性的な宿泊施設を運営。新規施設の開発のみでなく、既存の旅館やリゾート施設の運営を請負い、様々な工夫をこらした手法で事業を再生している。現在、手がける拠点数は37カ所(国内35、海外2)。



星のや
軽井沢

琵琶湖の食文化が大きな観光資源に



琵琶湖由来の観光資源とさらに真剣に向き合う

知事 ロテルド比叡の料理には滋賀の食材がふんだんに用いられていますね。

星野 やはり主題は琵琶湖です。これほど食文化と密着した湖は他にはありません。発酵技術をはじめ、この湖が生み出す食文化そのものが大きな観光資源だと考えています。

知事 琵琶湖は広くて深い。様々な生息環境が多種多様な生物を育み、豊かな生態系を保っています。季節ごとの生物の営みもあり、それが滋賀の豊かな食文化につなが

がっているのです。

ただ、外来魚のブラックバスなどが琵琶湖の在来魚介類を食べることによって琵琶湖の生態系に影響が出ています。

星野 真剣にブラックバスの絶滅を目指すプロジェクトができれば、研究者も集まるし面白いのではないのでしょうか。琵琶湖で絶滅が成功すれば世界から滋賀が注目されるでしょう。

知事 どれだけ本気になれるか、ということですね。

星野 様々な分野で官公庁の本気度が問われていると思います。食文化についてもそうです。例えば、鮎ずしは琵琶湖の生態系を利用し

星野リゾート ロテルド比叡

比叡山の懷に建ち、琵琶湖を望むホテルとして、1999年に開業し、2015年に星野リゾートが運営を開始。ロテルド比叡では、「美食」「絶景」「地域魅力」をコンセプトに、滋賀県ならではの魅力に着目。発酵食や滋賀の農産物を取り入れた最上のフレンチ、標高650mの展望デッキからは四季折々の琵琶湖の景色が楽しめる。また、「比叡山やくばらい散歩」などの体験プランを提案し、滋賀の魅力を堪能できるオーベルジュとして多くのファンに親しまれている。



ロテルド比叡 外観



琵琶湖が一望できる「山床カフェ」



四年漬け鮎寿司

た産物ですし、滋賀の発酵文化です。しかし、漁師さんや鮎ずしを作る方も減っている。地域独自の食文化をどうやって将来に伸ばしていくかが、大変重要だと考えています。

滋賀県は平均寿命全国トップ 人だけではなく 社会や自然も健康に

知事 厚生労働省の調査※1で、滋賀県の男性の平均寿命が全国で1位になったことをご存じですか。

星野 私の地元、長野を抜いたのですね。理由は何でしょうか？

酒をする人が少なく、スポーツやボランティアをする人が多いという生活習慣と、県民所得が高い、労働時間が短い、失業者も少ないといった生活環境との関係が深いと考えられています。

星野 当社では20年前に脱煙プログラムをスタートさせました。当時は人権侵害と批判する社員もいましたが、今はいなくなりました。

知事 お客様にも脱煙を？

星野 今では当たり前になりましたが、当時は禁煙部屋を用意しました。最近ではたばこを吸う方もたばこの臭いがする部屋を嫌って禁煙部屋を選ぶ。禁煙にすることが

※1 / 「平成27年都道府県別生命表」厚生労働省



星野 佳路さん（星野リゾート代表）

1960年、長野県軽井沢町生まれ。慶應義塾大学経済学部を卒業後、アメリカのコネル大学ホテル経営大学院修士課程へ。その後1991年に星野温泉(当時)社長に就任。日本の観光産業振興のカギを握る経営者として注目されています。

喫煙者に嫌われなくなってきたというのです。
知事 本県も喫煙防止教育などの実施に力を入れてきた成果が健康長寿に表れてきました。
星野 「健康しが」がスローガンですか。
知事 人だけではなく社会や自然の健康も。例えば山の健康でいうと木を切って植えることは不可欠ですが、切った木の需要の喚起が課題となっています。
星野 木質バイオマスは注目されています。エネルギーも地域で循環できるようにすればよいと思います。

地域名はマーケティングの視点で考案すべき時代

星野 以前、滋賀県が県名を変えるという話を伺った記憶があります。
知事 知名度向上の策として進言されましたので「検討します」と答えたら、メディアが注目して論争に発展しました。
星野 県名もマーケティング的な観点で見直すべき時代だと感じています。外国人にも覚えやすかったり発音しやすかったり。観光だけではなく産品にもプラスの影響が出るはずですよ。
知事 確かに、県名は滋賀であるのに、県内の産品には近江がついて

いて、説明が必要な時もあります。
星野 市町村名は合併に伴ってどんどん変わっていますからね。
知事 近頃では兵庫県の篠山市が住民投票により丹波篠山市に変わるようです。こちらにも産品には丹波がついています。
星野 それで販売数や集客数に差が出始めたなら、いつか県名にも及ぶ時期がくるのではないのでしょうか。

観光の充実が新たな100年を支えていく力に

知事 これからの時代を考える上でSDGs※の視点でも検討すべき価値がありそうです。
星野 SDGsの考え方には興味があります。当社は平成31年で創業105年目になりますが、今後の100年は大きな変革の時代を迎えると考えています。

星野 その通りです。滋賀のことも実際に行けばよくわかるはず。行けば愛着が生まれ、そこでつくられているもののストーリーが理解できます。
 観光は、地域の価値を世界に発信する重要な役割を担っていると考えます。「100年後には世界で最も大切な平和維持産業になっている」と私は予測しています。

知事 観光を通じて滋賀のことを知ってもらい、滋賀県民は観光を通じて世界を知る。人や自然との調和や共生を大事にする滋賀の思想や生き方が世界に共感してもらえる嬉しいですね。そして、これから先も滋賀が豊かでみんなが幸せを感じられる地域であり続けられるように、様々な取組を進めてまいります。

韓国や中国と日本との間で政治上の問題はたくさんありますが、観光客は多く来日してください。人が行き来して交流することで、相互理解ができる。それが、国同士の良い関係に影響すると考えています。この流れを止めてはいけないと感じています。
知事 観光の振興により相互理解が進むということですね。



※2 / SDGsとは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略。平成29年、滋賀県が都道府県で初めて県政に取り入れることを宣言

滋賀から世界へ

琵琶湖の経験が海外で貢献！

琵琶湖の環境を守る中で培われてきた技術やノウハウは、琵琶湖発の取組として、海外の海や川、工業団地といった様々な場所に活用できる可能性を秘めています。

滋賀県は、琵琶湖の水環境保全にも取り組みながら経済発展を遂げました。アジアなどの経済の急成長に伴い環境汚染が心配されている

地域で、企業や大学、行政などが滋賀県での経験を活かして、水環境に関するビジネス（水環境ビジネス）を通じて現地に貢献しています。

ベトナム・ハロン湾地域での活動

美しい自然を守りたい！

2014年(平成26年)からベトナムの観光地ハロン湾とその隣にあるカットバ島で、地域ごとの課題やニーズに合わせて環境を守りながら発展できるように、国際協力機構(JICA)や企業、大学、滋賀県などが一緒に取組を進めてきました。



ハロン湾の課題

急激な開発に伴い、水質が悪化

環境保全意識を高める必要

環境に配慮した次の観光産業を育てる必要

- 高度成長期の琵琶湖と似ている
- 海水・淡水の違いはあるが閉鎖性水域という共通点

琵琶湖の経験の応用

水質や環境の状態を正しく把握するための組織・ルールづくり

環境白書づくりなど住民への情報提供や環境教育

環境に配慮した「エコツーリズム」の開発

経済成長と環境保全を両立させる「グリーン成長」を目指す



滋賀県はクアンニン省と覚書(MOU)を結び、協力しています。

クアンニン省ハロン湾地域のプロジェクトの協力がきっかけで、2017年(平成29年)10月、「環境・経済分野の協力に関する覚書」を結びました。

同省初の「環境白書」や、自然環境に配慮した観光(エコツーリズム)などに滋賀県の経験が活かされています。

海外からの期待の声

クアンニン省人民委員会

副委員長 ダン・ファイ・ハウさん



長年にわたる滋賀県の協力に感謝するとともに、今回、ハロン湾のことを日本の皆さま、特に滋賀県の皆さまに紹介する機会をいただき、うれしく思います。

滋賀県の協力のもと、クアンニン省では琵琶湖環境科

学研究センターをモデルに、ハロン湾研究センターを設立したところです。

クアンニン省は、今後、ハロン湾の環境保全を推進するにあたり、技術の共有、琵琶湖の研究成果の承継、そして人材育成の面で、滋賀県にサポートいただけることを願っております。

改めて滋賀県の協力に感謝するとともに、両者の良好な関係が今後も育まれることを祈っております。

フォーラムメンバーでの事業例



海外の見本市で技術や製品のPRや商談を行います。



国際協力を通じて、現地政府や企業、住民自らの環境改善に向けた行動につながりました。

滋賀県に本社、もしくは工場がある企業の製品やサービスが海外でも使われています。

- **水環境関連部材**
水に含まれる不純物をろ過するための「膜」、水道や下水道などに使われる「管」などが使われています。(積水化学工業(株)、東レ(株)、日東電工(株)など)
- **バルブ**
管などを流れる気体や液体の流れを止めたり、調節したりする装置です。地場産業である彦根バルブが、上下水道用や産業用として広く使われています。(滋賀バルブ協同組合会員企業など)
- **水処理装置**
水の利用に必要な装置の設計、製造、施工を行っています。(大洋産業(株)、高橋金属(株)、WEF技術開発(株)など)
- **センサー・計測機器**
水や大気、土壌など環境の状態を知るためのセンサーや計測機器が広く使われています。(オプテックス(株)、(株)堀場製作所など)
- **検査・分析**
環境の状態を知るための検査や分析技術は、経済成長が著しいアジア諸国で特に必要とされています。(株)日吉など)

県内にはもっと多くの事業所や技術があります。
「しが水環境ビジネス推進フォーラム」で検索してみてください!

しが水環境ビジネス推進フォーラム



滋賀県では、企業や研究機関などが国内外の水に関する課題の解決に貢献できるように、「しが水環境ビジネス推進フォーラム」というネットワーク組織をつくっています。

水環境ビジネスの最新動向をはじめ、先進的な企業の取組や国などの支援施策の情報共有をするほか、具体的なビジネス案件の形成や共同開発などに向けたマッチングの場となるよう、様々な活動を行っています。この活動を通じて、企業などのビジネスが海外での持続的な発展に貢献できるよう取組を続けています。

滋賀県企業の海外展開を応援します

日本貿易振興機構(ジェトロ) 滋賀貿易情報センター

所長 道法 清隆さん



2017年(平成29年)7月にオープンしたジェトロ滋賀では、滋賀県の水環境ビジネスの取組に対してサポートをしています。例えば、びわ湖環境ビジネスメッセに合わせ、日本の技術やノウハウが欲しいアジア諸国からバイヤーを招き、ビジネスにつなげています。

国際協力機構(JICA) 関西センター

所長 西野 恭子さん



琵琶湖を擁する滋賀県では、水環境保全の知見が行政や企業、市民活動それぞれに蓄積され、今やベトナムなど開発途上国が抱える水環境問題の解決に大いに活かされています。滋賀県の国際協力にJICAも一緒に取り組み、ともにSDGs達成を推進していきたいと思えます。



「滋賀ならではの「滋賀だからこそ」を世界へ」
滋賀県では、湖南省(中国)をはじめ、台南市(台湾)、ホーチミン市(ベトナム)、クアンニン省(同)、香港など、海外の産業との環境連携を深めています。さらにインドネシア、インド、ミャンマーなど、企業の海外での活動も進んでいます。
2015年(平成27年)9月の国連サミットでは、より良い未来に向かって取り組むべき17の目標から構成される「SDGs(持続可能な開発目標)」が採択されました。滋賀県はいち早くSDGsに取り組むことを宣言しました。琵琶湖保全を通じて産官学民に蓄積されてきた総合的な取組である「琵琶湖モデル」は、世界の水環境の改善に活用され、SDGsの達成にも貢献しています。

い じゅう 滋賀に「JU」?!

移住促進プロジェクト

滋賀の未来を担う人材を確保し、地域の活性化を目指して、滋賀への移住を促進するための取組を行っています。



大阪府→滋賀県
高島市在住

石津さんご家族

大阪からUターンされた後、代々続く田んぼを受け継ぎ、清らかな水が湧く「生水(しょうず)の郷」で、米の無農薬栽培に取り組まれています。

都会と田舎の両方を知り、自分の求めるものが見えてきました

若い頃は田舎に閉塞感を感じ、都会に憧れて地元を離れましたが、ふと自分の生き方を見つめ直したとき、本当に必要なものは地元・高島にあると気づきました。田舎暮らしを楽しみ、たまに都会で刺激を受けるのがちょうどよいと感じています。

1

情報収集・相談



移住の相談を受ける滋賀県の相談員・池田さん

しがーじゅう相談センター
しごと
相談センター
東京・有楽町のセンターでは、平成29年7月に開設以降、滋賀への移住を希望される方のご相談にお応えしてきました。雄大な琵琶湖をはじめとする豊かな自然、歴史文化の見どころが数多いところ、地域に根付いたものづくりの仕事は、首都圏の方に魅力を感じていただいています。

移住フェアへの参加や移住ポータルサイトの活用、しがーじゅう相談センターでの相談等

移住の受入れで地域に活力を!



移住希望者向けツアーの様子



NPO法人 結びめ
西川 唱子さん 原田 将さん

NPO法人 結びめ

人口減少が進む地域を活性化させるため、移住支援の取組を行っています。

高島への移住希望者向けのツアーや、移住者と地域の人との交流イベントを開催しています。移住者が開業したカフェには、遠方からも人が訪れるなど、地域に活力が出てきました。こうした様子を見て、地域に魅力や誇りを感じ、Uターンを希望する若者も出てきています。

IJUって?

- Iターン…縁がない地域に移り住むこと。
- Jターン…一度都会に出たあとに近隣の地域に戻ることに。
- Uターン…もともと住んでいた地域に戻ることに。

滋賀県の人口は減少に転じ、中山間地域ではコミュニティ機能の低下などが課題となっています。人口減少の流れを押しとどめるため、滋賀の心地いい暮らしづくりを県外にPRし、市町などと連携して移住を促す取組を行っています。

滋賀暮らしの魅力は、豊かな自然に恵まれ、同時に大都市への交通アクセスがよい点にあります。

東京や大阪での移住フェアの開催や、インターネットでの情報発信に加えて、平成29年には東京・有楽町に「しがIJU相談センター」を開設。移住希望者への情報提供の充実を図っています。県民の皆さんも身近な人に、魅力ある滋賀へのUターン・Jターンなどの移住をぜひ勧めてください。

また、移住された方々を地域全体で温かく迎え入れて、地域の活力を高めていきたいと思います。

田舎暮らしならではの魅力を楽しんでいます

滋賀の大きな魅力のひとつは、ほどよく便利な町の近くに豊かな自然が広がり、アウトドアを楽しめることです。初めて出会った方から「こんにちは」と声をかけられたり、ご近所から野菜や果物をいただいたりという経験は、都会育ちの私たちにとってはとても新鮮な出来事でした。



東京都→滋賀県
長浜市在住

竹村さんご家族

東京からIターンされた後、まちづくりのプロジェクトに携わる中で、幅広い人とのつながりを築きながら使われなくなった町家の再生などに取り組まれています。

2

体験

「つながる滋賀移住体験プラン」への参加
しがIJU応援カード会員への登録

「つながる滋賀移住体験プラン」への参加

県外からの移住希望者に滋賀での「暮らし」と「仕事」を体験していただく「つながる滋賀移住体験プラン」を、1泊2日または3泊4日で実施しています。



しがIJU
応援カード会員
への登録

県外の居住者を対象にした会員制カード。引越しの優待割引など、協賛企業の協力による会員特典があります。



3

仕事・住居探し

WORKしが・
空き家バンクの活用

企業サイトWORKしが

滋賀県での就職を希望する学生・若年求職者向けの滋賀県最大級の企業情報サイト。



空き家バンク

「空き家バンク」では、空き家を移住者などに紹介し、所有者との間で賃貸・売却のあっせんを行っています。

4

移住

各市町の移住・定住施策の活用



東京・日本橋から滋賀の魅力を発信する「ここ滋賀」



1周年イベントでは、「近江商人と日本橋」をテーマにラジオの公開収録も行いました

平成29年10月に東京・日本橋にオープンした情報発信拠点「ここ滋賀」が、1周年を迎えました。1年間で57万人を超える方々に来館いただいています。

これからも、情報、人、モノが集まり行き交う東京で、滋賀の豊かな自然や歴史・文化、食や特産品などの多彩な魅力を語り、多くの方々に滋賀へいざないます。

滋賀の特産品が充実! マーケット



1日平均約1,600人が来館

滋賀の特産品や伝統工芸品など、約1,000点を販売。食品では、「鮎ずし」「赤こんにやく」「鮎醬油煮」などが売上げ上位で、雑貨では、琵琶湖をテーマとした文房具や高島ちぢみ、琵琶湖真珠などが人気です。今後も商品を入れ替えながら、品質や素材の良さなど、商品の持つ上質な魅力を発信していきます。

また、商品改良や販路拡大に意欲的な県内事業者を応援するため、新商品などを販売するテストマーケティングコーナーを設置し、お客様の声を事業者にフィードバックします。

— 出品事業者の声 —

- 県外の方に商品を知ってもらえきっかけとなり、問い合わせや注文が増えました。
- 「ここ滋賀」で商品を見た方が、滋賀に旅行に来られ、訪問いただいたのはうれしかったです。



滋賀の味を堪能あれ! レストラン日本橋 滋乃味

「近江牛と発酵」をテーマに、季節に合わせた旬の県産食材を使い、その良さを伝えています。ランチは、滋賀の健康をイメージした「近江一汁三菜定食」が人気です。

また、毎月、滋賀の料理人が特別メニューを提供し、食文化などを含めた滋賀の魅力を語るフードイベントを開催。参加者からは滋賀を体感できたと好評です。



近江一汁三菜定食
味噌汁と小鉢2品、主菜1品のバランスの取れた定食を週替わりで提供

滋賀の地酒ファンが増えています! SHIGA's BAR

地酒やおにぎり、コーヒーなどが、気軽な雰囲気です。ただけです。

スタッフとの地酒や滋賀にまつわる会話を楽しみに、仕事帰りの方や観光客で、カウンターがいっぱいになることも。



日々、新しい滋賀に出会える! ここ滋賀イベント

「ここ滋賀」の特徴は、ほぼ毎日開催しているイベントです。事業者、関係団体、市町等の皆さんの参加をいただきながら、開設1年間で、計196回、延べ447回開催しました。

展示、物販だけでなく、県市町による観光PR、麻織物の手織りの実演や近江の茶の淹れ方教室、ピワイチのVR体験、明智光秀に関する歴史セミナーなど、滋賀の強みや魅力を発信し、滋賀を体感していただいています。



市町と連携して、「ふるさとPRイベント」を開催。5,500人の方が来場され賑わいました。



— 歴史セミナー参加者の声 —
● 西教寺からみた明智光秀像がわかりました。ゆかりの地を訪れてみたくまりました。

★ 販売商品・イベント出展について ★

「ここ滋賀」で、商品の販売やイベントの開催などを希望される方は、まずはこちらをご覧ください。

お問い合わせ 販売 ▶ goods@cocoshiga.jp
メール ▶▶▶ イベント ▶ event@cocoshiga.jp

★ ここ滋賀ショッピングサイトのご案内 ★

「ここ滋賀」の商品を中心としたショッピングサイトです。滋賀の魅力的な特産品をお届け。ぜひご利用ください。

ここ滋賀ショッピングサイト 検索
https://cocoshigashop.jp/



「ここ滋賀」は、これからもどんどん、新しい滋賀の魅力を発信していきます。最新情報は、「ここ滋賀」のホームページをご覧ください。



ここ滋賀 検索

料金を受取人払郵便



差出有効期間
平成31年2月28日
まで(切手不要)

5 2 0 8 7 9 0

滋賀県広報課
「知事への手紙」係行

大津市京町 四丁目一

封筒の作り方

- ①キリトリ線に沿って切ります。
- ②中央を山折りにし、のりしろAにのりをつけます。
- ③のりしろAとBのりしろCを貼り合わせます。
- ④切手を貼らずにそのままポストへ。(平成31年2月28日まで)

(山折り)

「知事への手紙」

あなたの想い 聞かせてください

県では、県民の皆さんとの対話を通して、これからの滋賀県づくりを進めていきたいと考えています。皆さんの想いを知事に届ける「知事への手紙」で、県政への建設的なご意見やご提案をお聞かせください。

この用紙以外の方法でも、いつでも受け付けています。

● パソコン

- 県ホームページ
[ようこそ知事室へ]
- [知事への手紙(受付)]
- [「知事への手紙」を送る]

● スマートフォン

- 右記の二次元コードから
- 「知事への手紙」入力画面へ
- アクセスしてください。



スマートフォン版

● はがき・封書

- ファックス 077-528-4804



おまちしてます!

※次の手紙は「知事への手紙」としてお受けできませんのでご了承ください。

- 法令違反に関わる告発、警察捜査、許認可に関わる内容など
- 特定の個人や団体などを誹謗中傷するもの
- 商業宣伝に関するもの
- 県の職員(県立学校の教職員を含む)など県の内部関係者からのもの

のりしろC

バスポートセンター「米原出張窓口」1月・2月のお休みのお知らせ
月曜日、金曜日、土曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)のほか、1月15日(火)、
2月12日(火)は休業します(日曜日は受け取りのみ可)。
県バスポートセンター TEL 077-527-3323 FAX 077-527-3329

県政にご参加ください

みんなで 明日のしが

平成31年度県政モニター募集

県民の皆さんから県政へのご意見やご提案をお聴きする、県政モニター制度を設けています。平成31年度に活動していただける方を募集します。

- ▶ 主な活動内容：県からお願いするアンケート調査への回答、県政に関する意見や提案の提出
- ▶ 募集人数：400名
- ▶ 応募資格：県内在住の満15歳以上の方(平成31年4月1日現在)で、県政に関心を持ち、インターネットを利用してサイトの閲覧、メールの送受信およびアンケートへの回答が可能な方(タブレット、スマートフォンは可、携帯電話端末は不可) ※ただし、国または地方公共団体の議員や常勤の公務員の方は応募いただけません。

▶ 応募方法：しがネット受付サービス

▶ 応募締切：2月8日(金)



問 県庁広報課 TEL 077-528-3046

FAX 077-528-4804

E ab0001@pref.shiga.lg.jp

河川管理パートナーの募集

河川の管理に理解と関心を持ち、月2回の河川管理パトロールと、河川を正しく安全に利用するための普及啓発活動を実施していただける方を募集します。

- ▶ 応募資格：巡視担当区域(①大津土木事務所管内、②東近江土木事務所管内、③長浜土木事務所木之本支所管内)に居住、勤務または通学している方で、平成31年4月1日現在で満18歳以上の方。
- ▶ 応募締切：2月28日(木)必着

※公募エリア、募集人員は、HPで1月下旬に公表予定。詳細は、HPでご確認いただくか、下記までお問い合わせください。

問 県庁流域政策局 河川・港湾室

TEL 077-528-4161

HP <http://www.pref.shiga.lg.jp/h/index.html>



滋賀県観光事業審議会委員の募集

滋賀県の観光振興に向けて「滋賀県『観光交流』振興指針」で定めた基本方針に基づき、具体的な取組を推進するにあたり、表記の委員を募集します。

- ▶ 募集人数：1名
- ▶ 対象：満20歳以上(平成31年3月1日現在)の方
- ▶ 応募方法：郵送／Eメール／持参(県観光交流局のホームページから入手できる所定の応募用紙に必要事項を記入の上、意見書(800字程度・テーマ「滋賀県における観光振興について」)を添えてお申し込みください。
- ▶ 応募期間：1月10日(木)～2月8日(金)

問 県庁観光交流局 TEL 077-528-3740

FAX 077-521-5030

E ff00@pref.shiga.lg.jp

HP <http://www.pref.shiga.lg.jp/f/kanko>

キリトリ線

キリトリ線

県内の講座やイベント等を紹介する
ホームページ「におねっと」

におねっと

検索

講演・講座や学びの情報満載！



試験

平成30年度滋賀県ふぐ調理師試験

- ▶日時：2月5日(火)、6日(水)
- ▶会場：県立男女共同参画センター（近江八幡市鷹飼町80-4）
- ▶対象：調理師法第3条の規定による調理師の免許を取得している者
- ▶願書配布・受付および問い合わせ先：県内の保健所または県庁健康医療福祉部生活衛生課 食の安全推進室
- ▶願書受付期間：1月4日(金)～11日(金)まで
- ▶申込方法：持参 ▶受験手数料：7,000円

問 県庁生活衛生課 食の安全推進室
TEL 077-528-3643 FAX 077-528-4861

毒物劇物取扱者試験

- ▶日時：2月23日(土) 13時30分～15時30分
- ▶会場：立命館大学びわこ・くさつキャンパス(草津市野路東1-1-1)
- ▶願書受付期間：1月7日(月)～17日(木)(土曜日、日曜日および祝日を除く)の9時～17時(郵送の場合は1月17日(木)消印有効)
- ▶申込方法：持参/郵送(簡易書留)
- ▶試験手数料：10,500円(滋賀県収入証紙による)
- ▶提出書類：受験願書、写真(出願前6か月以内に撮影した正面上半身、脱帽のもので、縦4cm×横3cm)、試験手数料
- ▶願書配布場所：県庁薬務感染症対策課、各保健所、大津市保健所保健総務課、または県HPからダウンロード

問 県庁薬務感染症対策課
TEL 077-528-3634 FAX 077-528-4863
HP <http://www.pref.shiga.lg.jp/e/imuyakumu/dokugeki/top.html>



募集

オール滋賀DEインターンシップ実習成果報告会

「企業の魅力発信」をテーマとしたインターンシップに参加した学生および受け入れ企業担当者による成果報告会を開催します。

- ▶日時：2月28日(木)13時30分～15時30分
- ▶会場：草津商工会議所(草津市大路2-11-51)
- ▶内容：春季インターンシップ実施概要の説明/成果報告(インターンシップ参加学生・受け入れ企業双方からの発表)
- ▶対象：学生、大学、企業担当者 等
- ▶定員：20名程度 ▶申込方法：電話 ▶参加費無料
- ▶申込締切：2月26日(火)正午(先着順)

問 滋賀インターンシップ推進協議会事務局
(県委託業者) (株)廣濟堂(大阪府豊中市蛍池西町2-2-1)
TEL 06-6855-3399



知事への手紙

縦線

のりしろ④

縦線

◎ご意見、ご提案とともに、次の欄のご記入をお願いします。
(※匿名希望の方は、記入不要です。)

住所 〒()

フリガナ

氏名

電話

●意見要旨、知事回答文の県ホームページなどへの掲載の「可」「不可」
(※知事が回答したお手紙は、個人情報などを除いて、ご意見要旨や知事回答文を県ホームページなどに掲載することがあります。掲載してよい方は「可」に、そうでない方は「不可」に○をご記入ください。)

可 不可

◇おことわり

- ※個人情報の取り扱いについては「滋賀県個人情報保護条例」に基づき、適正に行います。
- ※掲載を承諾する旨が明記されたお手紙に限り、個人情報などを除いて、ご意見の要旨、知事回答文を県ホームページなどに掲載することがあります。
- ※お手紙へのお返事または詳細確認のために、郵便や電話などでご連絡させていただく場合があります。

キリトリ線

キリトリ線

情報ガイド

滋賀県公式Twitter・Facebook・Instagramをご覧ください!
 県政情報やイベント開催、滋賀の魅力ある写真などをタイムリーに発信しています!!

- Twitter (https://twitter.com/watan_shiga)
- Facebook (<https://www.facebook.com/pref.shiga>)
- Instagram (https://www.instagram.com/watan_shiga/)



催し講座

食の安全・安心 シンポジウムの開催



県民の皆さんが正しい知識を持ち、より安心して食品に関わることができるよう、各分野の専門家をお招きしてシンポジウムを開催します。

- ▶日時：2月14日(木) 午後
- ▶会場：県庁新館7階大会議室(大津市京町4-1-1)
- ▶内容：講演テーマ「食と微生物、その功罪を知る～いい細菌、悪い細菌、どちらも台所にいた!～」講師 小沼 博隆氏(日本食品衛生協会学術顧問) 他
- ▶定員：200名(先着順)
- ▶申込方法：しがネット受付サービス/FAX/Eメール/持参
- ▶申込締切：2月12日(火)(必着)
- ▶参加費無料

問 県庁生活衛生課 食の安全推進室
 TEL 077-528-3643 FAX 077-528-4861
 e shokunoanzen@pref.shiga.lg.jp



2019「北方領土の日」 県民のつどい



2月7日の「北方領土の日」を記念して、北方領土問題についてわかりやすく学べる講演会のほか、北海道の海の幸が当たるお楽しみ抽選会などもあります。お気軽にご参加ください。

- ▶日時：2月14日(木) 13時～16時
- ▶会場：県立男女共同参画センター[G-NETしが]大ホール(近江八幡市鷹飼町80-4)
- ▶定員：500名 ▶参加費無料
- ▶申込不要(手話通訳が必要な場合は、1月31日(木)までに要申込)

問 県庁広報課
 TEL 077-528-3041
 FAX 077-528-4803



平成30年度 看護職就職フェアinしが



滋賀県内の病院、訪問看護ステーション、介護福祉施設等が設けるブースで

個別に就職面接が受けられます。会場への出入りは自由で、各ブースは自由に回れます。

- ▶日時：2月20日(水) 13時30分～16時
- ▶会場：クサツエストピアホテル(草津市西大路町4-32)
- ▶内容：県内の病院、訪問看護ステーション、介護福祉施設等への就職相談/就職に役立つワンポイントメイク、ハンドマッサージコーナー、福祉や訪問看護の仕事についての相談コーナー
- ▶対象：保健師、助産師、看護師、准看護師の有資格者で、再就職を希望する方/平成31年3月卒業見込みの看護学生で就職未内定の方
- ▶定員なし ▶申込不要 ▶参加費無料

問 公益社団法人滋賀県看護協会内
 滋賀県ナースセンター
 TEL 077-564-9494 FAX 077-562-8998



育休後のハッピー・ キャリア・カフェ



滋賀県では、仕事をしながら子育てしたい(している)方を応援するため、「育休後のハッピー・キャリア・カフェ」を開催します! 育休中の方、育休を取得予定の方は、このカフェで育休後の働き方を一緒に考えてみませんか。育休からすでに復帰されている方も大歓迎です!

- ▶日時：3月9日(土) 14時～16時30分
- ▶会場：ホテルピアザびわ湖 クリスタルルーム(大津市におの浜1-1-20)
- ▶内容：講演、先輩女性へのインタビュー、交流タイム 講師：育休後コンサルタント 山口 理栄さん
- ▶対象：産休中・育休中、育休から復帰された方、育休取得予定の方およびそのパートナー
- ▶定員：50名
- ▶申込方法：しがネット受付サービス/封筒/FAX/持参
- ▶申込締切：2月28日(木)
- ▶参加費無料

問 県庁女性活躍推進課
 TEL 077-528-3772
 FAX 077-528-4807



滋賀県庁就職セミナー



- ▶日時：3月8日(金) 第1部9時～11時45分、第2部13時30分～16時15分
- ▶会場：県庁新館7階大会議室(大津市京町4-1-1)
- ▶内容：県庁の部局ごとにブースを設け、ベテラン職員と若手職員が、具体的な仕事内容などの質問に直接お答えします。また、採用1年目職員の体験談や、女性職員による仕事と子育ての両立事例の紹介なども行います。
- ▶対象：滋賀県職員採用試験の受験を考えている方
- ▶定員：1部・2部各130名(先着順)
- ▶申込期間：2月1日(金)9時～28日(木)17時
- ▶申込方法：しがネット受付サービス
- ▶参加費無料

問 滋賀県人事委員会事務局
 TEL 077-528-4454
 FAX 077-528-4970



お知らせ

琵琶湖大橋 ETC運用開始と回数通行券の払い戻し

平成31年2月1日午前0時からETCを運用開始します。

なお、ETC運用開始後、通行料金のお支払いは、現金またはETCカードとなり、回数通行券は使用できません。現行の回数通行券は、料金所事務所か道の駅「びわ湖大橋米プラザ」で払戻手続きを行います。

- ▶回数通行券払戻期間：1月15日(火)～7月31日(水)まで

※詳細は滋賀県道路公社ホームページ(HP <http://www.biwa.ne.jp/~douro-co/>)または下記まで

問 滋賀県道路公社
 TEL 077-524-0141 FAX 077-524-5531

110番通報の適切な利用

1月10日は「110番の日」です。事件や事故で110番にかけていただくと警察官が順に質問しますので、慌てずにお答えください。緊急通報以外の問い合わせや相談等は「#9110」または最寄りの警察署で受け付けています。

問 滋賀県警察本部 TEL 077-522-1231(代表)

会場
 対応
 している
 もの



情報ガイド

お申込み・お問合せ

- 電話・FAXの場合 各記事の番号へ
- 県庁各課への郵便(はがき)の場合 〒520-8577(住所不要) 〇〇〇〇課あて
- 「しがネット受付サービス」 県のホームページ、または右記二次元コードから



催し講座

滋賀マザーズジョブステーション セミナー

仕事



「働きたい」「キャリアアップしたい」そんな女性を応援するため、託児付きの無料セミナーを毎月1回程度開催しています。お気軽に、ご参加ください。

- ▶ **会場:** マザーズジョブステーション・近江八幡(近江八幡市鷹飼町80-4) / 草津駅前(草津市大路1-1-1)
- ▶ **内容:** 「折れない心の作り方」「コミュニケーション講座(交流分析)」「お仕事復帰プランニング」 他

※各マザーズジョブステーションに利用登録が必要です。

- ▶ **定員:** 各回各会場定員15名(先着順)
- ▶ **申込方法:** 電話 ▶ **参加費無料**

※開催日時、申込期限は下記HP、チラシで確認いただくか、下記までお問い合わせください。

問 滋賀マザーズジョブステーション・近江八幡
TEL 0748-36-1831

問 滋賀マザーズジョブステーション・草津駅前
TEL 077-598-1480



生涯学習・地域づくり実践フォーラム

生涯学習



活力ある地域づくりに関わる方々が集まり、今年度実施した「地域づくり型生涯カレッジ」の事例発表や講演を通して、「学び」を生かした地域づくりへの理解を深めます。

- ▶ **日時:** 1月25日(金) 13時30分～16時10分
- ▶ **会場:** 県立男女共同参画センター [G-NETしが] (近江八幡市鷹飼町80-4)
- ▶ **内容:** 講演「人生100年時代と地域づくり」講師 村田 和子 氏(和歌山大学地域活性化総合センター 教授) / 事例

発表「市民学芸員・博物館パートナー育成にかかる講座」の取組(東近江市)、「こなん市民大学」の取組(湖南市)

- ▶ **定員:** 200名(先着順)
- ▶ **申込方法:** しがネット受付サービス / 電話 / FAX / Eメール /
- ▶ **申込締切:** 1月23日(水)
- ▶ **参加費無料**

問 滋賀県教育委員会事務局 生涯学習課
TEL 077-528-4652 FAX 077-528-4962
E ma06@pref.shiga.lg.jp



2018年度新琵琶湖学セミナー(全3回)

生涯学習



「森と水辺の物語—新しい歴史展示をつくる」をテーマにセミナーを開催します。

- 第1回「自然と自然観」**
▶ **日時:** 1月26日(土)
▶ **内容:** 「地域環境史」でみた琵琶湖地域、繰り返された平安時代の近江地震
- 第2回「遠い昔の森と人」**
▶ **日時:** 2月23日(土)
▶ **内容:** 花粉の化石からみる琵琶湖の森の一万年、出土遺物からみた木材利用の変化
- 第3回「教科書に出てくるムラ 今堀」**
▶ **日時:** 3月23日(土)
▶ **内容:** 惣村の環境デザイン—ムラの祭りの現在のなかの森づくり—、ムラの祭りの現在

- 上記3回とも
- ▶ **時間:** 13時20分～15時40分
 - ▶ **会場:** 県立琵琶湖博物館 セミナー室
 - ▶ **定員:** 各回70名(先着順) ※1回ごとの参加も可能
 - ▶ **参加条件:** 高校生以上 ▶ **参加費無料**
 - ▶ **申込方法:** しがネット受付サービス、または往復ハガキに「参加者名」「連絡先の電話番号」「参加日」を記入の上、

下記までお申し込みください。

問 県立琵琶湖博物館
(〒525-0001 草津市下物町1091)
TEL 077-568-4811



平成30年度健康経営セミナーの開催

医療・健康



健康経営や受動喫煙対策の推進、企業における実践等を紹介します。

- ▶ **日時:** 2月6日(水) 13時30分～
- ▶ **会場:** コラボしが21 3階大会議室(大津市打出浜2-1)
- ▶ **申込方法:** 下記までお申し込みください。

問 県庁健康寿命推進課 健康づくり係
TEL 077-528-3651



醒井養鱒場「さめがい冬まつり」

体験



大好評、養殖ビワマス「びわサーモン」で、ココロもカラダもポッカポカ、とびっきりのお祭り!

- ▶ **日時:** 2月9日(土)・10日(日) 10時～15時
- ▶ **会場:** 滋賀県醒井養鱒場(米原市上丹生)
- ▶ **内容:** 大好評「びわサーモン」の試食や販売。棒寿司など「びわサーモン」を使った新メニューの試食。塩焼き・やわらか煮・フライなどの販売。各種体験(マス釣りやエサやり体験など: 要別途料金)。小さなお子様も楽しめるキッズコーナーなど。
- ▶ **入場料:** 大人500円 / 高大生300円 / 中学生以下無料

問 醒井養鱒場
(指定管理者: 滋賀県漁業協同組合連合会)
TEL 0749-54-0301



気をつけて! ヒートショック

暖かい部屋から浴室やトイレに行くときブルッと震えませんか。「ヒートショック」とは、温度変化による血圧の急激な変化によって、失神したり心筋梗塞などになったりすることです。特に入浴時には注意が必要で、全国で年間約5,000人の方が浴槽で亡くなっています。

ご注意を!

- 室内の温度差をなくす。脱衣所や浴室、トイレを暖めておく(暖房器具やシャワーなどの蒸気で暖める)
- お風呂の温度は41度以下にする
- 家族と同居なら、入浴前に声をかける 家族も声をかけて見守る習慣を!



高齢者(血圧変動しやすい)、高血圧・糖尿病・動脈硬化の病気がある人は、特に気をつけてください



問 県庁健康寿命推進課 TEL 077-528-3655 FAX 077-528-4857
E eg0002@pref.shiga.lg.jp HP http://www.pref.shiga.lg.jp/e/kenko-j/heatshock/heatshock.html

会場に対応しているもの



車いす対応



車いす対応エレベーター



車いす対応トイレ



オストメイト対応トイレ



おむつ替えシート



託児



授乳室



要約筆記



手話通訳



駐車場

みんなで プラスワン!

VOL.20

滋賀県知事
青木 達



あけまして

おめでと〜んごいいます

新年、いかがお過ごしですか?

亥年。今年、私は年男! 新たな決意で迎えました。

厳しい寒さの中ですが、朝の陽光に、湖面で寛ぐ水鳥たちに、元気を頂いています。今年一年、恵み豊かで、災いはないように...と祈っています。

古来、琵琶湖を擁する水の国「近江のくに」は、若狭や美濃、伊勢や山城、そして京の都などと「水」や「道」のつながりがあり、それが人のつながりをつくってきました。

琵琶湖・淀川水系の治水や利水、東海道や中山道などの旧街道と宿場、逢坂や不破の関などは、人々の往来が盛んで、その間に聳える山々

「水と道のつながり」を大切に守り、広げていこう!



滋賀・京都間の新しい国道1号バイパス建設促進期成同盟会 設立総会

も含めて賑わいと独特の文化を育んできました。

お隣の京都との間では、瀬田川と宇治川のつながり、「琵琶湖疎水」を活用した通船、湖西線や京津線の活性化など、より密接です。

課題であった国道1号は、渋滞解消のため、昨年、おかげさまで京都市等とバイパス建設促進期成同盟会を立ち上げることができました。

水と道のつながりは公共インフラとして、そして人や文化のつながりをつくるものとして、社会・経済に活力をもたらします。これは、「健康しが」の基盤となるものです。これからも、近隣府県とともにこれらのつながりを大切に守り、広げたいと思います。

今年も頑張りましょう! 共に...

県広報誌「滋賀プラスワン」は、点字版・音声版でも配布しています。音声版の「みんなでプラスワン!」のコーナーは三日月知事の朗読によりお聞きいただけます。

ほっと サロン



「滋賀プラスワン」1・2月号へのご意見・ご感想や県政についてのご意見などをお寄せいただいた方の中から抽選でプレゼントします!

① 星野リゾート ロテルド比叡宿泊券

2組4名様

新春対談でご紹介した星野リゾート ロテルド比叡の宿泊券です。比叡の森に包まれ、心安らぐ時間をお過ごしください。

※土曜休前日及び、GW、お盆など特殊日は除外となります。※写真はイメージです。



② 近江牛 霜降り・赤身肉 すき焼き用 (500g)

5名様

近江牛のすき焼き用のお肉です。家族でお鍋を囲み、いつもよりちよつと贅沢な食事を楽しみましょう。



※写真はイメージです。

③ 鮎ずし(本漬)

3名様

2ページの「しが∞モノ語り」にご登場いただいた、魚治さんの鮎ずしです。コクのある酸味と旨味をお楽しみください。



※写真はイメージです。

④ 厳選朝摘みいちご

5名様

お日さまの光をたっぷり浴びて育った朝摘みの新鮮いちご。完熟の美味しさにこだわった、冬いちごならではのプレミアムパックです。



※写真はイメージです。

⑤ 発酵ポターージュ

10名様

2ページの「しが∞モノ語り」にご登場いただいた、たやまささん手作りの発酵ポターージュです。麺の力で消化されやすく、体に優しいポターージュです。



※写真はイメージです。

⑥ うおーたん 小物入れ (約240×90×60mm)

10名様

小物入れ、化粧ポーチ、筆箱など、いろんな使い方ができる便利なアイテムです!



※写真はイメージです。

応募方法

はぎの場合は左記の内容を記入してください。県ホームページまたは滋賀モバイル県庁(携帯電話用ホームページ、右記二次元コード)の「しがネット受付」からも応募できます。なお、応募はお一人様1回とさせていただきます。(複数の応募は無効)

個人情報の取扱いについては「滋賀県個人情報保護条例」に基づき、適正に行います。なお、プレゼント発送のために個人情報を商品取扱事業者に提供しますのであらかじめご了承ください。11・12月号のプレゼントに998通の応募をいただき、3名の方に「大橋悠依選手サイン入り色紙」、3名の方に「近江牛・松茸セット」、3組6名の方に「永源寺温泉日帰り貸切プラン」、5名の方に「スイートポテト」、10名の方に「生糸の手作りタッセル」、10名の方に「うおーたん小物入れ」が当たりました。当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

しめきりは
1月24日(木)消印有効



お寄せいただいたご感想を「滋賀プラスワン」誌上などに紹介させていただきます。


520-8577 滋賀県広報課
1・2月号 滋賀プラスワン
ほっとサロン係

・1・2月号のご感想や県政についてのご意見
・希望のプレゼント番号(1つ)
・郵便番号・住所
・氏名・年齢
・電話番号
・匿名希望の有無

県広報誌「滋賀プラスワン」は年6回(奇数月)の発行で、1・2月号は51万部作成し、県内に新聞折込で配布しています。県のホームページでもご覧いただけます。郵送をご希望の方、紙版・音声版(CD版)・TV版のお申込みは県庁広報課までご連絡ください。次回の発行は3月1日の予定です。




滋賀プラスワンは左記施設に配置しています
県内の市町役場、図書館、県立施設などの公共施設、郵便局、銀行、歯科医院、美容院、理容店、大卒、JR琵琶湖線や近江鉄道などの主要駅、平和堂、イオンファミリー、セブンイレブン、ローソンの部など



**知っているようで
知らなかった滋賀の魅力
をお届けします!**

びわこ放送でお届け **平成31年 1月27日(日)
3月31日(日)**
3ch

第3回(1/27)は、平均寿命が全国で第1位(男性[女性は第4位])である滋賀の健康を取り上げます! 過去の放送はこちら



新しい豊かさの創造
「健康しが」

滋賀 プラスワン **1**

Vol.177 **1・2**月号
平成31年(2019年)

平成31年1月3日発行

滋賀県広報課

〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号

TEL 077(528)3041

FAX 077(528)4803

Eメール koho@pref.shiga.lg.jp

県ホームページ

<http://www.pref.shiga.lg.jp/>



この印刷物は、環境に配慮した再生紙、大豆油インキを
包含した植物油インキを使用しています。